



いずも1月号

令和7年1月8日
大田区立出雲小学校
校長 関 眞理子

- ① いつでも、どこでも、チャレンジすることも
② ずっと、なかよし、やさしいことも
③ もりもり、わくわく、きたえることも

学校ホームページ: <https://www.ota-school.ed.jp/izumo-es/>
住所: 〒144-0044 東京都大田区本羽田1丁目2番4号
電話: 03(3742)3542 FAX: 03(3742)3543

蛇のごとく、再生と発展を繰り返し、進化する年

校長 関 眞理子

新年、明けまして、おめでとうございます。巳年にあたり、ヘビのように、再生と発展を繰り返しながら、子どもたちの学びと成長を進化していく年にしていきたいと思います。さらに、子どもたちが健やかに、たくましく活動しながら、成長していくことを願っております。ぜひとも、出雲の子どもたちを支えてください。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年1月9日には、本校が開校69周年を迎えます。今年度は、「おおたの未来づくり科」の素地づくりで、かかわってくださった、前大田観光協会 小関みどりさんとオンラインでつなぎ、一冊の本との出会いから夢の実現へ結び付けて奮闘している様子をお話いただきます。ずっと、希望や夢を持ち続け、人生を謳歌していく生き方を学びたいと考えています。

初めてのワールドシリーズ制覇を成し遂げた大谷翔平選手は、右ひじ手術のため、指名打者に専念して臨んだ2024年。

成し遂げた偉業の裏には、数々の試練と決断がありました。その大谷選手から、史上初「50-50」(50盗塁と50本塁打)を成し遂げました。今季59盗塁を記録したその裏側には、驚異の努力がありました。大谷選手は、走塁力の進化が見られ、リードの距離が大幅に伸びていきました。MLBの平均値は、11.9フィート(3.93m)で、2024年の大谷選手は、12.9フィート(4.26m)でした。さらに素晴らしいことは、盗塁数を重ねるごとに、リードの距離が大きくなっていったということです。以下は、4月から9月までの大谷選手のリード距離です。表を見ると、4月と9月を比べると、0.6mもリードを大きくとっていることが

	リード(フィート)	盗塁成数	リード(m)
4月	11.7	5	3.9
5月	12.6	7	4.2
6月	12.9	3	4.3
7月	12.7	10	4.2
8月	13.1	11	4.3
9月	13.5	14	4.5

分かります。ロサンゼルス・ドジャースチームの選手の中で、大谷選手の序盤は、リード距離「赤」で、最下位でした。地道な練習を積み重ね、リード距離は、チーム内で「緑」へ進化していきました。盗塁タイムも0.3秒短縮したことで、見事に記録を打ち出したのです。

自身で不可能だと決めつけていることや諦めてしまいそうなことでも、大谷選手は、データから読み深め、たくさんの作戦を考え、様々なことにチャレンジしながら、自身の「できる(可能)」を増やしています。

苦手なことや2学期にできなかったことをそのままにしないで、楽しむ工夫と成長が見える努力を積み重ねていくことが大切です。大谷選手から学

び、見える努力を積み重ね、やがては習慣化することができると、行動変容していく姿につながります。

「何をどうするのが必要なのか、また、その理由は何か」という「知識」をもち、「自分の習慣を変えよう」とする「意欲」を高め、そして「必要な行動変化を起こし、それを続ける」ための「技術」の3つが必要不可欠です。

子どもたち自身で楽しむ工夫を凝らしながら、子どもも教師もひと回り大きく成長していく3学期にしていきたいと思います。保護者、地域の皆様には、子どもたちへの励ましと見守りをお願いいたします。

日	曜	1月の行事予定	※予告なしの避難訓練があります。							授業時数(学年)						SC	1月の生活目標
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6			
1	水	元旦															○心をこめてあいさつしよう 学習や生活の中で、相互にあいさつを交わし、全員が「あいさつ名人」になろう
2	木																
3	金																
4	土																
5	日																
6	月																
7	火	冬季休業日終															
8	水	始業式 午前授業	4	4	4	4	4	4	4	4	4						
9	木	開校記念日 開校記念集会 給食始 昔遊び週間始	5	5	6	6	6	6	6	6	6						
10	金	計測(6)	4	5	6	6	6	6	6	6	6	○					
11	土																
12	日																
13	月	成人式															
14	火	計測(5) 委員会 安全指導	5	5	5	5	6	6	6	6	6	○					
15	水	体育朝会 小中一貫教育の日 午前授業	4	4	4	4	4	4	4	4	4						
16	木	計測(4)	5	5	6	6	6	6	6	6	6						
17	金	計測(3) お話会(2・4)	4	5	6	6	6	6	6	6	6						
18	土	校庭開放 ものづくり教育・学習フォーラム(代表児童舞台発表・販売)															
19	日																
20	月	全校朝会 計測(2) 校内書初展始 1年生下校指導	5	5	5	6	6	6	6	6	6						
21	火	計測(1) 縦割班活動	5	5	5	6	6	6	6	6	6	○					
22	水	集会委員会集会 計測(5組) 午前授業 校内研究(3-1、5-3)	4	4	4	4	4	4	4	4	4						
23	木	昔遊び週間終 補習教室 笑顔と学びの体験学習	5	5	6	6	6	6	6	6	6						
24	金	お話会(1・3・5)	4	5	6	6	6	6	6	6	6	○					
25	土	学校公開日 薬物乱用防止教室(6) 校内書初展終	3	3	3	3	3	3	3	3	3						
26	日																
27	月	SR(休)	5	5	5	6	6	6	6	6	6						
28	火	クラブ	5	5	5	6	6	6	6	6	6	○					
29	水	音楽朝会 午前授業	4	4	4	4	4	4	4	4	4						
30	木	補習教室	5	5	6	6	6	6	6	6	6						
31	金		4	5	6	6	6	6	6	6	6	○					

1 2月の出雲のこどもたちの様子

多くの授業パートナーと学習を通して、学びを深めたこどもたち。今後も引き続き、励ましや温かい声掛けをお願いいたします。活動の様子は、HPにアップします。

Photo by Yosuke. I

※左記の写真は、6学年 相川陽祐さんの作品です。「高尾山から望むダイヤモンド富士」

1 学年

○生活科「ふゆとなかよし」

風を使ったおもちゃとして、たこ、かざわ、かざぐるまを作りました。授業パートナーである「大田区環境マイスター」の方々が授業パートナーとして、おもちゃづくりの補助や遊び方のアドバイスをしてくださいました。

こどもたちから「もっと高く、たこをあげたい。」「もっと、ころがしたい。」という思いや願いをもとに、おもちゃや遊び方の工夫に取り組むことができました。



5 組

○ゴクミノカフェ、閉店

12月10日(火)は、7月から学習を進めてきたゴクミノカフェの最終日でした。お客さんとして、六郷小学校特別支援学級3組の児童の皆さんに來校いただきました。

こどもたちからは、「また来たい。」「楽しかった。」との感想をもらい、お互いに、よい学びにつながりました。また、授業パートナーであるカフェパチエの藤好様にも御來校いただき、係ごとへ感想をいただきました。これまでの学習したことを今後にも生かしてまいります。



3 学年

○煙体験学習

12月12日(木)に避難訓練(火事)の後に、蒲田消防署の消防士の方に来ていただいて、煙体験をしました。煙の中に入る前に、①姿勢を低くして歩くこと、②ハンカチ等の布を口に当てて歩くことを教えていただきました。姿勢を下げ、ハンカチで口を覆い、煙の中を歩くことができました。日々の訓練が大切であると再認識することができました。



2 学年

○生活科「せかいにひとつ わたしのおもちゃ」

10月中旬から作っている動くおもちゃが完成しました。作る際には、授業パートナーである「大田区環境マイスター」の方々に、こどもたちに動くおもちゃのアドバイスなどをいただき、完成することができました。学習発表会の場で、完成したおもちゃの作り方の説明や、遊び方などを発表しました。学習の最後には、お世話になった「大田区環境マイスター」の方々を招待し、学びの成果を発表することができました。



5 学年

○縦割班引継式

3学期からは、6年生の児童に代わって、5年生のこどもたちが縦割班活動を運営していきます。12月17日の縦割班引継式には、縦割班活動の起案や計画の仕方、当日の進め方について6年生から教えてもらったり、リーダーとしての心構えなど、活動のリーダーとしての意思を受け継いだりしました。

下級生をしっかりと導けるように頑張っており、支えています。



4 学年

○体育科「ティーボール」

12月の校庭での体育科では、「ティーボール」の学習。ティーの上に置いたボールを打ったり、守ったりして、得点を競う運動です。

試合の場面では、チームのメンバーと相談しながら、守備位置を調整する姿や大きな声で応援し合う姿が随所で見られました。単なる勝ち負けを楽しむのではなく、チームのメンバーと協働する楽しさを味わいながら、活動に取り組んでいました。



6 学年

○おおたの未来づくり科「IT製品で明るい未来をつくろう」

12月16日(月)に、おおたの未来づくり科「IT製品で明るい未来をつくろう」の学習で最終発表を行いました。地球温暖化を防ぐ、また、進ませないためのIT製品を考え、学習パートナーである(株)日本TATAコンサルタンシー・サービスの方々に向けて発表しました。「海水を淡水に変えて、海面上昇を防ぐ。」「空気中の電気を集めて発電によるCO2を抑える。」など、様々なアイデアをこどもたちは考え出していました。この学習を通して、班の皆と協働しながら、試作品(モック)をつくり、発想力豊かにアイデアをまとめる力が身に付きました。

